



2020年3月27日

各 位

会 社 名 ウシオ電機株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 内藤 宏治
(コード番号 6925 東証第一部)
問 合 せ 先 経理財務部長 瀧澤 秀明
(TEL. 03 - 5657 - 1000)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による影響を踏まえ、2019年5月10日に公表した業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

(百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	170,000	10,000	12,000	11,500	94円17銭
今回発表予想（B）	155,000	6,000	7,500	7,000	57円17銭
増減額（B－A）	△15,000	△4,000	△4,500	△4,500	-
増減率（％）	△8.8%	△40.0%	△37.5%	△39.1%	-
（参考）前期実績 （2019年3月期）	165,138	8,517	11,439	11,326	88円85銭

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染の中心地であった中国では、感染拡大の封じ込め対策により、徐々に経済活動は戻りつつあるものの、映像関連市場では、中国全土で大規模な映画館の営業停止が継続しております。また、感染が急拡大している欧州や米国でも外出禁止令が発動されるなど、全世界でテーマパークや映画館の閉鎖及び各種イベント中止が発表されており、シネマプロジェクター用クセノンランプや映像装置の事業環境が大幅に悪化しています。また、半導体・電子部品及びフラットパネルディスプレイ市場においても、中国を中心とした客先工場稼働の低下や停止が続いている他、各国の入国・移動制限により人員派遣などができず検収作業の遅れが発生し、一部売上案件の来期への先送りなどが出てくるなど、露光用UVランプや光学装置の事業環境も悪化しています。加えて、当社グループの製造拠点では、中国やフィリピンの生産拠点における稼働低下及び停止による損失が発生しています。以上により、前回公表した予想数値を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

※上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上